

(様式3)

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成27年1月13日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0871000287		
法人名	有限会社 さわやか荘		
事業所名	グループホーム さわやか荘	ユニット名	1
所在地	〒304-0075 茨城県下妻市南原132-1		
自己評価作成日	平成26年5月21日	評価結果 市町村受理日	平成26年12月19日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/08/index.php?action_kouhyou_detail_2013_022_kihon=true&JigyosyoCd=0871000287-00&PrefCd=08&VersionCd=022
-----------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成26年7月9日	評価機関 決 裁 日	平成26年12月19日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

利用者が健康に暮らせるよう、リハビリや足のマッサージを毎日おこなってます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

管理者は職員と日頃から何でも話せる人間関係を築くなど、風通しの良い働きやすい職場の環境づくりに努めている。 管理者と職員は利用者の最後の家族としての自覚を持ち、利用者に寄り添う介護を基本としながら日々の実践につなげている。 職員は利用者のむくみ解消のため、足のマッサージを毎日行っているほか、利用者の健康維持のために一緒にリハビリ体操をしている。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I 理念に基づく運営						
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	職員会議や朝礼で話し合いをし、実行している	管理者と職員が話し合い、地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所独自の理念を作成し、玄関や居間に掲示している。理念を朝の申し送り時に唱和して職員の意識を高め、共通理解を図りながら実践につなげている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	市内の保育園との交流会を定期的に行っている	自治会に加入して職員が地域の清掃活動へ積極的に参加し、事業所自体が地域の一員として交流をしている。利用者は職員と一緒に地域の保育園の運動会や雑祭りに招待されて参加しているほか、地域の特別養護老人ホームとの交流会に出席するなど、利用者が地域の人々と交流ができるよう支援をしている。散歩時に地域住民と挨拶を交わし、日常的に交流をしている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	避難訓練をする際、地域の方に来ていただき一緒に行動し、理解していただけるよう支援している			
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	インフルエンザ等感染症予防など、情報を参考に役立てている	運営推進会議は家族等や市職員、自治会長、管理者で2ヶ月に1回開催している。会議では事業所の活動報告や行事予定、利用状況の説明をするほか、出席者と意見交換を行い、出た意見等を職員会議で報告して検討し、インフルエンザ等感染症予防対策を実施するなど、サービスの質の向上に活かしている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	介護保険課・福祉事務所と随時連絡を取り、取り組んでいる	管理者は毎月市の介護保険課や福祉事務所に足を運び、事業所の入退居状況やケアサービスの取組みを報告するとともに、運営に関する助言を得るなど、協力関係を築いている。 利用者の多くが生活保護受給者のため、市の担当職員が来訪するなど、連携を図っている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	できる限り身体拘束をしない暮らしにと取り組んでいる	職員は年1回から2回開催する研修会を通して身体拘束の内容とその弊害について理解しており、居室や玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。 医師の診断のもと、転倒の危険性がある利用者に対し、家族等の同意を得てベッド柵を平成26年5月まで経過観察記録や再検討記録を踏まえて実施していたが、現在は解除している。 管理者は職員会議時に個人的な実践を踏まえた話を職員にし、身体拘束をしないケアへの理解が得られるよう努めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員会議時に年に1度研修し、話し合っている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるように支援している	身体拘束と権利擁護を一緒に考え、サービス担当者会議時に話し合っている		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	説明を行った時点で、疑問点を聞き、理解していただいた後に署名・捺印をしていただいている		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時やケアプラン見直し時に、必ず聞くようにしている	利用者からは日常の問いかけや会話の中から、家族等からは来訪時や運営推進会議などで意見や要望を聴くよう努めている。「外出支援を増やしてほしい」などの意見を検討し、下妻市のふるさと博物館の催しがあるたびに出かけるなど、運営に反映させている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議や朝礼で話し合いをし、実行している	管理者は日頃から職員に話しかけてコミュニケーションを図り、職員が意見や提案を出し易い環境を築いている。職員は月1回の会議だけでなく、日常的に介護現場の声を管理者に伝えており、業務中の携帯電話の使用禁止や洗濯物の洗い方の見直しをするなど、出た意見等を運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	給料の他、能力に応じて一時金を支給するようにしている		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	できる限り行うようにしてる		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	市が行う高齢者虐待研修時に話し合う機会を設けてくださっており、その場で話し合いや情報交換ができるようになっている		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ケアマネジャーが主に聞くようにし、職員会議で共有するようにし、安心して暮らせるようにしている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ケアマネジャーが主に聞くようにし、職員会議で共有するようにし、安心してもらえるようにしている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	できる限りの選択肢を話し、相談にものり、ニーズに合うよう支援している		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	地域性もあってかお互い必要以上の敬語は使わず、何か仕事を頼んだり、相談したりと小さな家族のように暮らすようにしている		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	1か月に1度の面会やお便りの近況報告、お盆・正月の一時帰宅等の提案をしている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入所前診てもらっていた先生に継続していただいたりしている	入居時のアセスメントの段階で利用者や家族等、市職員の話から、利用者の馴染みの人や場所を把握している。 利用者の馴染みの洋服店への買い物や墓参りに同行するなど、馴染みの関係が途切れないよう支援している。 生活保護の利用者が多く親類縁者が少ないため、グループホームの生活により新たな人間関係を築いていけるように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員の一方向的な介護にならないよう、利用者にも他の利用者をみていただいたりする場面設定を作っている		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	できる限り行うようにしてる		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	自室でテレビを見たい方、皆さんが集まるところでずっと一緒に過ごしたい方などの希望を、できる限り把握し行うようにしてる	職員は利用者がその人らしい暮らしが続けられるように日常の関わりや会話を通して希望や意向を把握し、申し送り時に報告するとともに個人ファイルに記載し、全職員で共有している。 意思表示が困難な利用者の場合は、日々の生活の中での表情や行動から、利用者の思いや意向の把握に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	できる限り行うようにしてる		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日バイタルチェック等をし、把握につとめている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	3か月に1度、急変時は都度行っている	介護計画は計画作成担当者が利用者や家族等の希望を取り入れて担当者会議を行い、主治医や職員の意見をまとめて作成し、モニタリングを実施して3ヶ月毎に見直している。 利用者の心身の状態に変化が生じた場合はその都度見直し、利用者や家族等の確認を得ている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の記録は毎日、介護計画は3か月に1度行っている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	できる限り行うようにしてる		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	庭の花や菜園を育てたり、散歩途中のごみをひろったりしている		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	毎日のバイタルチェック等を定期的にし、報告、指導をしていただいている	利用者や家族等が希望するかかりつけ医への受診を支援しているほか、協力医療機関への受診も支援している。 かかりつけ医や協力医療機関への通院は職員が付き添い、受診結果は申し送りノートに記載するとともに、家族等に電話で報告をしている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中であらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	職員看護師朝礼時に行うようにしている		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	既往歴や服薬等の情報提供書を提出している			
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	原則終末期支援は行っていません	契約時に利用者や家族等に事業所の「重度化や終末期に向けた方針」を説明し、看取りは行わない旨を伝えて同意を得ている。 重度化や終末期が予想される場合は、事業所の「ターミナルケアについての指針」に基づいて主治医や家族等、事業所で話し合う機会を設け、「ターミナルケアの話し合いの記録」に記載するとともに、支援をしている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	普通救命救急講習を定期的に受けている			
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的に避難訓練を行っている。地域の方にも来ていただいている	避難訓練は消防署立ち会いのもと、近隣住民の参加を得て夜間を想定した避難訓練を含めて年2回実施している。 消防訓練計画書を作成し、「報告書」を実施記録としているが、訓練の内容や参加者名など、明確に記録する実施記録の作成までには至っていない。 災害に備えて食糧や飲料水などを備蓄している。	避難訓練の実施記録については、訓練の日時や参加者名、内容を明確に記録することを期待する。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	安心するような言葉使いにし支援している	職員は利用者の個性やこだわりを把握し、一人ひとりの人格を尊重しながらプライバシーを損ねない言葉かけや対応に努めている。 個人情報に関する重要書類は同じ敷地内にある管理者宅の鍵のかかる金庫に保管するとともに、日々記録する個人のケース記録は事務室の書棚に保管し、情報の漏洩に留意している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	買物同行の際や献立・誕生日のケーキ等決めていただいている			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	字の練習をする方やリハビリをする方等、空いた時間の中で支援している			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	入浴後に着る服を決めていただいたりしている			

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立を決めていただいたりしている	献立は管理者が管理栄養士の助言を得て作成し、食材を生協へ注文するほか、利用者と一緒買い出しをして、賄の職員が調理をしている。 職員は利用者と一緒同じ食卓を囲み、温かい食事が摂れるよう支援をしている。 利用者は盛り付けや配膳、後片付け、テーブル拭きなどの役割を担いながら食事を楽しんでいる。 季節に応じて行事食を提供しているほか、出前弁当などを取り入れ、利用者が食事を楽しめるよう支援をしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	1日水分1.5ℓ以上、カロリー1400kcalを目安に提供してる	/	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	できる方はご本人、できない方は職員がうがい・歯磨き・入れ歯洗浄を行っている	/	
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表をつけ、個人の排泄サイクルに合わせ、誘導・声掛けをしている	職員は排泄チェック表を活用して利用者一人ひとりの排泄パターンを把握するとともに、タイミングを見計らって声かけ誘導をし、トイレで排泄ができるように支援している。 日中はほとんどの利用者が布パンツかリハビリパンツで生活をしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	日々の運動や繊維の多い食事にとりしている		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	できる限り行うようにしているが、病気によって入浴時間が制限されている方が中心になってしまいうことが多い	入浴は週2回を基本としているが、利用者の希望にそっていつでも入浴ができるように支援をしている。 季節に合わせて菖蒲湯を取り入れたり、入浴剤を使用して入浴が楽しめるよう支援をしている。 入浴を拒む利用者には強要はせず、タイミングを見計らって再度誘ったり、好きなコーヒーで誘導するなどの工夫をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中の20～40分位の昼寝をしていただき、夜も落ち着いて休めるようにしている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	与薬チェック表をつけており、変化時はそのことも記入している		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	リハビリチェック表があり、出来た時は赤丸・出来なかった時は青丸をつけ、次回できるよう支援したりしている		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	近所のふるさと博物館には展示物が変わるごとに見学したり、博物館からも催しごとのたび連絡をいただくようになっている	職員は利用者と一緒買い物に出かけたり、天気の良い日には事業所周辺を散歩して五感を刺激したり、四季の移り変わりを楽しめるように支援している。 年間の外出計画を作成し、初詣や花見、博物館、紫陽花見学、花火大会などに出かけ、気分転換ができるように支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買物に行く際はご本人に支払っていただくこともある		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	できる限り行うようにしている		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	廊下など何も置かないよう配慮している	居間兼食堂には大きなテーブルセットが2個配置されており、利用者と職員が自由に座って話しをしたり、ぬり絵をするなど、居心地のよい空間になっている。 廊下には手摺が取り付けられており、利用者は自分のリハビリメニューにそって手摺を使い、足上げや歩行訓練をしている。 日差しが強い窓にはよしずやすだれを掛け、温度調節をしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食堂の隣にソファをおいて、スペースを作っている		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	なるべくなじみの布団や使い慣れたテレビ、タンスを持ってきていただいて使用するようになっている	居室にはエアコンやクローゼット、カーテン、ベッドが備え付けられている。 利用者は筆筒や鏡台、椅子、ぬいぐるみなど、使い慣れた馴染みの物品を持ち込んでいるほか、位牌や仏壇など大切な物品を持ち込んだり、家族の写真などを飾ったりして居心地よく過ごせるよう工夫をしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	字の練習をする方やリハビリをする方散歩する方掃除をする方など、職員と一緒に見守り・声掛け支援行っている		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	1, ほぼ全ての利用者の ○ 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	1, 毎日ある ○ 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが ○ 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが ○ 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	1, ほぼ全ての家族と ○ 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある ○ 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている ○ 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○ 1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が ○ 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

(様式4)

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホームさわやか荘

作成日 平成26年12月26日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	35	避難訓練の実施記録については、訓練の日時や参加者名、内容を明確に記録する	次回訓練時	今までは早番・遅番等の記入であったが、今後は職員の名前も記入します	次回訓練時には達成できません
2					
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。